

広島県広島市西区の取り組み紹介 在宅医療・介護連携の取り組み

○広島市西区の状況

広島市西区は、人口190,272人、高齢化率22.1%（平成29年2月現在）で、広島県西部に位置しています。

○取り組みの概要

- ・広島市西区医師会を中心とした区内医療機関との連携による「西区在宅あんしんネット」を構築しています。
- ・広島市西区内の「12病院」と「かかりつけ医」が、24時間365日連携し、在宅療養患者の一時的な緊急入院や短期入院が必要となったときの対応や、ICTを活用した患者情報システムによる医療・介護連携体制ができています。

【「西区在宅あんしんネット」の主な取り組み】

- ・[西区在宅あんしんマップ](#)（外部サイトにリンク）
診療所・歯科診療所・薬局・介護事業所等の機能が一目にわかるマップです。
- ・[西区在宅あんしん病院システム](#)（外部サイトにリンク）

在宅患者の症状が悪化した場合、一時的に区内の拠点病院が預かる仕組みです。高齢者の救急搬送の“たらい回しゼロ”を継続中です。

・西区在宅あんしん連携システム

患者の同意を得たうえで患者情報をシステム登録し、入院時の情報やその後の受診歴や投薬などを入力し更新することで、患者情報を共有するICTを活用したシステムです。

医師が、ケアマネージャーからの相談に対応可能な時間、方法等も確認できます。

○実施状況(主なもの)

・西区あんしんマップ

地区と施設種別を選択することで、該当する施設の所在する位置にマーカー表示されます。

マーカーにカーソルをあわせると、施設の基本情報のほか、二十四時間対応、夜間・休日対応、緊急時の対応、経管栄養、人工呼吸器、看取り、終末期等の施設機能が確認できます。



・西区在宅あんしん病院システム

かかりつけ医の診断で、在宅療養を続けるのが困難と判断された場合、拠点病院である「荒木脳神経外科病院」へ一時入院となります。

当該拠点病院での継続入院、または診察の結果により、適切な支援病院への入院となります。

退院時には、かかりつけ医及びケアマネージャーと病院の緊密な連携によるスムーズな退院支援が可能です。